

●梅雨明けが草刈りの時 南駐車場 木津川マラソン本部会場 魚とり高水敷草内渡しの浜の草刈り完成 毎年の繰り返しとなりますが、梅雨明けには集中豪雨が発生します。九州や東北での大災害の発生は一か月分の降雨が一瞬に集中することで水害や土砂崩壊が発生しています。自然の猛威が知らされます。加えて人工的な構造物のもろさも見られる東京電力福島原発事故があります。里山の会は乗鞍山への登山と自然観察を計画していた折に水素爆発のニュースを聞いたのです。あれからもう6年が経過しました。やっと原子炉内部のデブリが撮影されたニュースが流されました。いずれにしても災害の後始末には相当な年月が必要ということを証明したものです。さて本題に戻って京都木津川マラソンの本部会場とする広場では10年前までは所為区物はほとんど見られずグランド状況でした。それが徐々に生育面積が拡大して、現在では自動車の侵入通路以外は裸地がなくなり一面背丈に近い植物の繁茂が見られ、春にはヨモギやイネ科植物が生い茂り秋に向けて葎やクズが繁茂する手の付けられない状況になって、中にはノイバラが覆うとんでもない状況になっているので、春先の茶摘みごろ 梅雨明け7月の中下旬、8月、9月下旬、11月、そして年末または1月に刈取りを行ってマラソン大会に備えて草刈りを実施しています。毎年の野草の生育はそれほど背が高くなっていないのですが、今年は異常に高く生育していました。したがって、草刈り作業に手間がかかってしまいました。34回大会は雨だったので地面が耕され、新しい土壌となったのではなかろうかと思われます。自動車の轍で地面の凹凸が例年になく深く高くなっていました。ハンマモアもかなり土砂を噛むことになり、刈取り刃とエンジンに負担がかかり、損傷が激しいようでした。スカイの草刈りで徐々に平坦化されていくものと思われます。

●第2回親子で遊ぼう学ぼう魚とり 八幡市域を対象者に参加者募集 応募者なし 開催中止 普賢寺川流水枯れ 7月初旬に昨年通りの案内チラシを京都府山城教育局管内の山城地域全小学校の児童への案内チラシを各自治体の教育委員会を通じて各学校別に仕分けしたチラシの配布を行っていただきました。7月17日はまだ夏休みになっていないので、全域から参加が可能と位置付けてありました。予想を超える大盛況になりました。例年夏休みに入ってくると大勢の参加申し込みが殺到しますので、ライフジャケットの準備が50組分しか用意できないので、旧郡市単位で開催日を決めて募集する方法に改善しました。これも昨年実績をもとにして改良しました。ところが7月22日の開催の件では応募者が全くなく、せっかく貴重な一日を用意して待ち受けていましたが、残念な結果になりました。昨年は、かなりの参加がありました。しかし今年は皆無となるとは全く予想していなかった事態になり、開催不可能になりました。まことに不可解な事態が発生したものです。準備してきた者にとっては骨折り損のクタブレ儲けということでした。

●国土交通省淀川河川事務所 国土交通行政功労者表彰 26日 14時 播川 深田 大村 青代さん出席 この20年間私たち里山の会は草花の調査観察を行い木津川堤防に917種の植物の生育を確認し、その標本化や花の写真集を発行してきた。木津川の昆虫野鳥水生生物の調査観察を通じて木津川の姿を見てどのような川なのかその実態を明らかにした木津川読本を山城地域の小学校や図書館に寄贈し、子どもたちに正しい姿を学ぶ資料を提供してきた。中でも木津川出張所の理解を得て竹蛇籠の設置を行い魚の棲み処の確保に取り組み古来工法による水制への試みを行った。一方調査観察を取り組みながら多くの市民の皆さんと一緒に行動する木津川の清掃ウォーキングを行い美化啓発に取り組みを行ってきた。こうした永年の活動を評価され7月26日河川活動に対して表彰状をいただきました。播川理事長、深田前理事長、大村副理事長が受賞式に参加し、他の受賞者との交流を深めあいました。この受賞にあたって、長年活動とともに進めてきた会員の皆様とイベント参加者、社員の皆様の継続してきたご努力に感謝申し上げます。これを機会にさらにこの道を進めてまいりましょう。ご尽力ありがとうございました。

●京の七夕 笹竹提供についておしらせします。切り出しにご協力いただけると幸いです 納品2時間前・約1時間の作業です。 お手伝いいただける方はご連絡ください。

7月28日 京の七夕協力・深草商店街 4.5m4本 7月31日 京の七夕協力・丹波橋繁栄会 2.5m20本

8月3日 京の七夕協力・丹松原商店街 2m40本 8月4日 京の七夕協力・京都三条商店街 4.5m5本
8月4日 京の七夕協力・西京極商店街 2.5m8本 8月9日 京の七夕協力・西京極商店街 4.5m8本
8月8日 回収 現地14時 京都三条商店街 8月14日 回収 現地9時 西京極商店街

●近畿水環境交流会 三川合流 さくら出会い館 29日、30日 永年摂南大学の皆さんが中心となって近畿各地で開催されてきました取組みが、新しく三川合流地に出現した「さくらであい館」を使って開催されます。初日の午前中石清水八幡宮やエジソン記念碑などをめぐる八幡市の文化遺産街並みを見学散歩され、午後には出会い館を使って活動経験の交流を深めあい、夕方最も盛り上がる懇親会を100人で行い、日頃の活動の英気をやしない明日の取り組みへの元気を分かち合います。終了後は観光バスで京阪中書島や近鉄大久保駅までお送りさせていただきます。大勢の方のご参加をお願いします。翌日二日目は午前中河川の清掃を行い午後から恒例のEボートを使ってのレースを行います。楽しい一日を過ごします。懇親会以外はいずれも無料となっています。

●第3回親子で遊ぼう学ぼう魚とり 30日 9時30分 木津川市山城町北河原 木津川流域センター 開橋東詰め下

参加者子ども:11人 大人:10人 合計21人となっています。充実した取り組みには適正な人数と思われます。スタッフの皆さんも一緒にたのしみましょう。お手伝いにもお越しく下さい

●里山の会 備品台帳から 総額1100万円の試算となる (印刷機 輪転機 カラープリンター フィールドスコープ 草内倉庫 教育棟 観察塔 炭焼き釜 パソコン各種 プロジェクターなど) 今回備品台帳を金額面から見た整理が行われました。これまでは総資産を数量で確認されてきましたが、今回金額で20年間を振り返ることになりました。予想もしなかった1100万という巨額に到達しています。これに小物が加えられていないので、正確にすればさらにアップすると思われます。多くに皆さんと取り組んできた事業の充実、組織の充実、そして社会貢献への取り組み、資料調査結果の公表、発表会や講演会の開催など数式に表せない大きな成果が山積されます。備品台帳から見ると里山の会のすごい成果物であります。これらの備品がさらに効果を発揮するよう生かされるように活動の充実に邁進しましょう。皆様のご協力をお願いするとともに、これらの備品を活用して一緒に頑張りましょう。

●事務局会議から 里山農園の運営改善を議論 21回里山講演会講師と演題について 里山農園の発展に欠かせないのは何よりも現在の農園の実態を正確にわかりやすくお伝えできていないところにあるのではないかと指摘がありました。深田前理事長がここの改善には正確な記録の確保が一番と気づき、日常活動の姿を伝えるためとして、農園だよりの復活をポイントとして、私案を提出いただきました。現在大村氏森島氏の両名を中心に仲間の輪を広げ大きくするために呼びかけがありました。同時に事務局会議出席者の皆さんと、会員社員各位への農園ニュースの配布が行えるよう気づきノートや改善、行動を水曜日の事務局会議に提出しようと呼びかけられました。そのための記録ノートの書き方についても次回の事務局会議に提案することになり、早速昼食前に検討時間を取りました。

●山村常務理事の京都木津川マラソン大会実行委員会委員長の退任を組織検討委員会義で承認される。正式決定は第2回実行委員会で承認の運びとなりました。なお新実行委員長も次期実行委員で正式検定のために検討中とのことです。7月25日

●自然環境保全京都府ネットワーク主催「生物多様性について意見交換会」9月5日(火)に開催 午後2時より16時 社員会員の皆様参加希望される場合ご連絡ください。全国各府県で生物多様性国家戦略が決定されていて、残るは京都府を含めて数件という段階にあります。京都府での決定に向けて先日結成された自然環境保全京都府ネットワークにおいて、第1回目の検討会が開かれました。2回目の検討委員会が9月5日(火)に開催されます席に余裕が多少あるようです。参加希望者がおられましたら会員社員の皆様のご連絡をお待ちしています。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 8月6日、8月20日、8月26日の参加者に余裕があります。応募ください

●8月16日 灯呂流しにお越しく下さい 16時～19時まで 防賀川(田辺高校東側・府営団地16棟)